

ベナンの風便り

2008年6月号

みなさんお元気ですか？ついに憧れのアフリカ大陸上陸です。でもやはりアフリカは遠かったです。日本から経由地のパリまで12時間半。そしてパリからベナンまで6時間半の空の旅。その旅の途中でも様々なものを見ることができました。



フランス、パリにあるルーブル美術館。「ダビンチ・コード」という映画でも使われており、映画を観た時から是非一度行ってみたいと思っていました。時間の都合で中に入ることはできませんでしたが、その外観の芸術性、規模に圧倒されました。



フランスからベナンへ向かう飛行機からの風景。サハラ砂漠上空です。世界の砂漠を上空から見ることでできた感動と同時に、何時間も飛ばないと抜けることができないほど大きな砂漠が広がっているという現実について考えさせられました。

ベナンへは夜到着したのですが、まず驚いたのがその湿度の高さです。飛行機から降りた瞬間じめーとした空気が身体を包みました。今は雨期らしく気温もそれほど高くありませんが、湿度が高いので部屋の中にいると汗がふき出していきます。少しずつですが、アフリカに来たのだという実感がわいてきました。

さて今生活しているのは、ベナン第一の都市コトヌーです。すぐに仕事が始まるわけではなく、8月初旬まではコトヌーでオリエンテーション、フランス語、現地語の勉強を行います。この期間はベナンでの生活に慣れるための期間でもあります。授業などがない時はできるだけ町に出て、地域の人々と交流しながら教えてもらおうと思います。



これから約1か月生活する宿です。外観はあまり良くありませんが、中はまあまあきれいです。



この2人部屋で生活をします。ベナンはマラリア流行国。蚊に刺されないようにするため、寝るときには蚊帳を使います。



宿のとなりの中学校前。普通にバイクに乗っているのが大きな違いですね。



宿の前の道に出ている店!?多くの料理がトマトベースでちょっと辛め。でも好みの味でとても美味しいです。

ベナンでは停電が多く、毎日数回起こっています。また電気で水を上げている関係で、水道があまり出ないこともあります。そしてフランスに立ち寄った時も思ったことですが、ゴミがとても多いです。日本に生活していると気が付きませんが、日本は本当にきれいな国なのだということが身にしみて分かります。まだベナンへ来て2日。まだまだ何も分からない状態ですが、来月にはもう少しいろいろなことを伝えられたらと思います。

ブログ更新中

ベナンの風：<http://benin.seesaa.net/>